

御挨拶 ～90周年の春～

北海道室蘭聾学校のホームページを閲覧いただき、ありがとうございます。

本校は、北海道の南西部にある工業都市・室蘭市の、少し山側に上がった住宅地の中にある聴覚障がい教育を行う特別支援学校です。

本校の通学区域（校区）はとても広く、西は豊浦町まで、東はえりも町まで、と東西にわたる地域を担当しており、居住地が遠方にある子どものため、寄宿舎が設置されています。

今年度は、幼稚部5名、小学部4名、中学部4名の計13名の在籍児のうち、7名の幼児児童生徒が寄宿舎生活を送っています。

本校は、校区内に居住地のある聴覚障がいのある在籍児に対して専門的な教育を行っております。また、0歳から2歳までの乳幼児を対象とした「乳幼児相談室」を設置しており、聴覚障がいのある乳幼児とその保護者への早期支援を行っています。さらに、特別支援学校のセンター的機能を発揮しながら、地域の小・中学校等に在籍する聴覚障がいのある児童生徒等に対する支援を行っており、昨年度からは管内の聴覚障がいの児童生徒を対象とした「通級による指導」と、苫小牧市や近隣の地域在住の方を対象とした「苫小牧相談室」の取組を開始しました。

さて、本校の初代校長である辻本繁先生は、視覚障がいのための教育団体である函館訓盲院（後の函館盲学校・函館聾学校）に入学した、最初の聴覚障がい児でした。

1928年、辻本先生は私財を投じて、北海道八雲町に「私立八雲聾啞学院」を設立し、1936年に室蘭へ移転。それが「私立室蘭聾啞学院」の前身となりました。その後、1948年に道立移管となり「北海道室蘭聾学校」と改称され、現在に至ります。所在地も、室蘭市母恋（ぼこい）から、1980年に現在の水元町に移転されました。

そして、今年度、本校は開校90周年を迎えます。

本校の教育活動の具体的な取組等につきましては、随時、本ホームページに掲載するほか、SNS等（公式 YouTube、Instagram）を活用した情報発信にも取り組んでまいります。

保護者の皆様、そして地域の皆様におかれましては、引き続き本校教育に対する御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



令和8年4月 校長 大塚 雅彦

室蘭の入学式には、まだ桜は咲きません。